

スポーツボランティア 体験教室

特定非営利活動法人 日本スポーツボランティアネットワーク



プログラム概要

スポーツボランティアとは、どのような活動があるのかを学び、「伴走ボランティア」などを実際に体験し、スポーツボランティアに対する理解を深めます。

対象者	小学生(4年生～6年生)	実施可能エリア	埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
テーマ	スポーツ(体育)	対応可能日	平日授業、平日放課後、土曜日、日・祝日や夏休み等の長期休暇
費用	要相談	主な開催場所	学校
所要時間	45分 ※30～90分でアレンジ可能	対応条件	条件はご相談ください

活動概要

【活動のきっかけ】

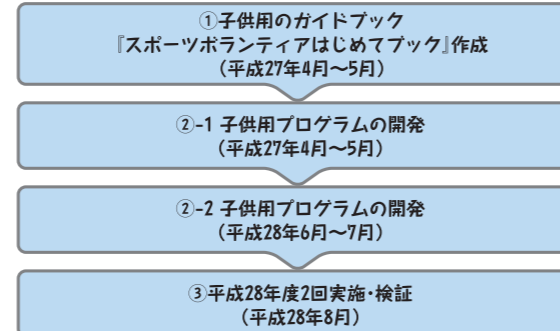
当団体は、平成24年4月17日に我が国のスポーツボランティア文化の醸成を図り、国民が生涯にわたりスポーツ活動を通じて豊かな生活の形成に寄与することを目的に設立しました。

近年、スポーツボランティアが広く社会に認知されるようになり、さらに2020年東京オリンピック・パラリンピックにむけて、スポーツボランティアに対する期待やニーズが高まってきています。

スポーツボランティアは、マラソン大会などのイベントボランティアのみならず、地域でのスポーツ指導や障害者のスポーツ実施を支えるなど、多様な活動があります。

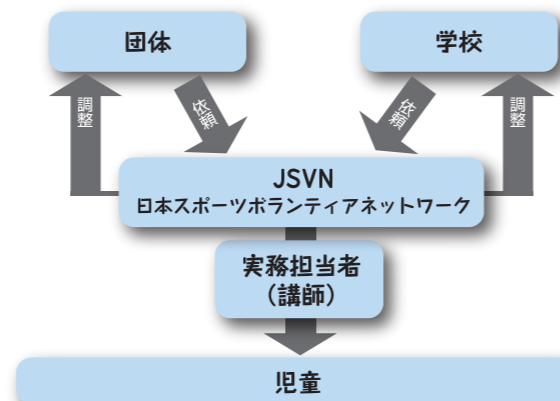
そこで、子供の頃からスポーツボランティアについて学び、体験できる機会があれば、きっと将来、スポーツボランティアに関わる人が増えるに違いないと考え、子供用のガイドブックを作成し、子供用の体験プログラムを開発いたしました。

【開発までのプロセス】



【実施体制】

これまで、文部科学省や東京都外郭団体からの依頼を受け、実施。今後は学校等、様々な層を想定しています。



活動の特長・工夫

①スポーツボランティアの特徴を学ぶ

イベントでの活動から地域での活動までスポーツボランティアの多様な活動を理解します。

②子供にできる活動であることを学ぶ

子供の頃からスポーツボランティアに親しみ、2020年東京オリンピック・パラリンピックに備えます。

③実際に視覚障害のある人を支える「伴走ボランティア」を経験する

実際に体感することで更に理解を深めます。

プログラム内容

【ねらい】

- そもそものボランティアに対する理解を促す。
- スポーツに特化したボランティア活動の特徴を理解する。
- スポーツボランティアの楽しさを感じてもらう。
- 今後、スポーツボランティア活動に興味・関心をもつきっかけとしたい。

【進行概要(時間・内容)】 45分

STEP1 (15分)

『スポーツボランティアはじめてブック』を用いた座学

スポーツボランティアの定義や必要性、活動の種類、子供の活動事例などを紹介。

レクチャー

STEP2 (25分)

伴走ボランティア体験

<準備>

- ・バندوقナ準備: 2人1組
- ・ジャンケン: 勝ち(目隠し役) 負け(誘導役)
- ・説明: 目隠しの人(誘導役) 人のヒジをつかむ

- 1 誘導役は周囲の状況を言葉で説明する
- 2 ぶつからないように歩いてみる(伴走)
- 3 最後に、軽く小走りもしてみる(伴走)

レクチャー

体験

感想を聞いて、交代!

STEP3 (5分)

ふりかえりとまとめ

レクチャーや体験の内容をふりかえるとともに、中学生以上が参加可能な「スポーツボランティア研修会」などを紹介し、自主的に活動や学びの機会を探す方法を伝える。



児童の声

いつも仕事の合間に野球を教えてくれている指導者のおじさんも、スポーツボランティアだということがわかりました。

児童の声

目が見えないとはじめは怖くて歩けなかったけど、誘導の人のおかげで歩いて、最後、少し走れた時は気持ちが良かった。

保護者の声

スポーツボランティアがどのような活動なのか、はじめて理解できました。高校生の息子にも教えたいと思います。

本プログラムのポイント

- ボランティアに対する理解を得られる。
- スポーツボランティア活動に興味・関心を持つ。
- 人と人が支え合うことの大切さを理解する。

今後の展望

現在は対象地域を首都圏に限らせていただいておりますが、今後は全国で実施できるように体制を整えたいと考えております。

企業・団体連絡先:

特定非営利活動法人 日本スポーツボランティアネットワーク 事務局
〒107-6011 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル11階
TEL: 03-5545-3301 e-mail: info@jsvn.or.jp